

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

(平成20年度施策報告)

中頓別町教育委員会

はじめに

平成20年4月から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）」の一部改正が施行され、教育委員会は毎年教育行政の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、法第27条の規定に基づき、平成20年度の執行状況について点検・評価を行ったものです。

中頓別町教育委員会は、今後も町民の皆様の生涯にわたって学び続ける教育環境の整備・充実を図るとともに、子どもたちの「生きる力」を育む教育の推進に努力してまいります。

1. 教育委員会議の開催状況
2. 教育委員会の活動状況
3. 主要な施策に基づく点検・評価
4. 教育委員会の事務の執行状況

生涯教育・学校教育・社会教育における執行状況（別紙資料）

平成21年8月

中頓別町教育委員会

教育委員会委員

職 名	氏 名
委 員 長	石 井 英 正
委員長職務代理者	内 田 貞 代
委 員	峰 友 武
教 育 長	米 屋 彰 一

1. 教育委員会議の開催状況

開催日	議 案	協議報告事項
4月18日	議案第1号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第3条の規定に基づく教育委員定数について	1) いじめ等に関する各学校の状況報告について
5月13日	議案第1号 委員長の互選について 議案第2号 委員長職務代理者の指定について 議案第3号 補正予算について	1) 平成20年度児童生徒就学援助の認定について 2) いじめ等に対する各学校の状況報告について 3) 教育委員会の教育委員定数について 4) 全国市町村教育委員会連合会の被表彰者の決定について 5) 運動会の日程について
6月23日	議案第1号 中頓別町教育委員会広告式規則の一部を改正する規則について	1) 平成20年度児童生徒就学援助の再協議結果について 2) 中頓別町教育委員会定数条例の制定について 3) 中頓別町特別支援教育連携協議会設置要綱の制定について 4) いじめ等に対する各学校の状況報告について 5) 中頓別小学校学校評議委員会報告について 6) 第45回北海道市町村教育委員研修会について 7) 平成20年度宗谷管内市町村教育委員研修会について
7月10日	議案第1号 教職員住宅の使用に関する規程の一部を改正する規程の制定について	1) 学校支援地域本部事業について 2) そうや自然学校の活動状況について 3) いじめ等に対する各学校の状況報告について 4) 平成20年度宗谷管内市町村教育委員研修会について
8月8日	議案第1号 1) 平成21年度に使用する小学校用教科用図書の採択について 2) 平成21年度に使用する中学校用教科用図書の採択について 3) 学校教育法第107条に規定する教科用図書の採択について 議案第2号 中頓別町学校給食運営委員会規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 中頓別町学校給食運営委員会委員の任命について	1) いじめ等に対する各学校の状況報告について 2) 町議会提案による「教育長の身分ならびに非常勤化について」 3) 中頓別中学校学校評議員会報告について 4) 学校訪問について
8月29日 (臨時)	議案第1号 別紙「教育委員会教育長にかかる条例改正について」の北海道教育委員会教育長から指導、助言があった取扱いについて	

開催日	議 案	協議報告事項
9月3日	議案第1号 補正予算について 議案第2号 平成20年度全国学力・学習状況調査結果の公表に係る対応について 議案第3号 教育委員の辞職に伴う同意について 議案第4号 教育長職務代理者の指定について	1) いじめ等に対する各学校の状況報告について 2) 第2回臨時議会において可決された「教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」 3) 小頓別小学校の学級編成について 4) 平成20年度宗谷管内市町村教育委員研修会について 5) 学校訪問について
9月10日(臨時)	議案第1号 補正予算について	
10月1日(臨時)	議案第1号 教育長の任命について 議案第2号 教育長の勤務形態について	
10月14日	議案第1号 平成20年度中頓別町文化スポーツ賞表彰者の決定について 議案第2号 中頓別町学校給食運営委員会委員の任命について 議案第3号 公有財産の移管について	1) 平成20年度全国学力・学習状況調査結果の分析について 2) いじめ等に対する各学校の状況報告について 3) 学校支援地域本部事業の決定について
11月18日	議案第1号 補正予算について 議案第2号 中頓別町立学校設置条例の一部を改正する条例について 議案第3号 中頓別町立学校通学区域規則を廃止する規則について	1) 中頓別町介護保険事業計画等策定委員会委員の推薦について 2) いじめ等に対する各学校の状況報告について
12月1日(臨時)	議案第1号 補正予算について	
12月24日		1) 随時監査報告について ① 指定管理者制度導入時の条例改正の欠陥について ② 管理業務委託に係る余剰金等の返納・返還について 2) 小頓別山村留学推進協議会役員会の結果報告について 3) 中頓別町営寿スキー場スキーパトロール員の委嘱について 4) いじめ等に対する各学校の状況報告について
1月16日	議案第1号 平成21年度中頓別小学校特別支援学級の設置について	1) 中頓別中学校学校評議員会報告について 2) いじめ等に対する各学校の状況報告について 3) 小頓別山村留学推進協議会に係る経過説明資料について
1月26日(臨時)	議案第1号 公の施設に関わる随時監査報告について	1) 小頓別山村留学推進協議会役員会報告について

開催日	議 案	協議報告事項
2月19日	議案第1号 平成20年度補正予算について 議案第2号 平成21年度教育行政執行方針について 議案第3号 平成21年度予算について 議案第4号 中頓別町創作活動施設の設置及び管理等に関する条例改正について 議案第5号 中頓別町創作活動施設管理運営規則の一部改正について 議案第6号 中頓別町学校給食運営委員会規則の一部改正について 議案第7号 中頓別町創作活動施設の管理業務委託に関する中頓別町文化協会からの公開質問状の取扱い及び平成20年度委託契約の解除について	1) いじめ等に関する各学校の状況報告について 2) 平成21年度「夏期巡回・特別巡回ラジオ体操会・みんなの体操会」開催地及び開催日程の決定について
3月13日	議案第1号 中頓別町教育功労者表彰について 議案第2号 中頓別町就学指導委員会設置規則の一部を改正する規則について 議案第3号 中頓別町教育委員会傍聴人規則の制定について 議案第4号 中頓別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について 議案第5号 中頓別町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 議案第6号 公有財産の所管替えについて 議案第7号 中頓別町就学指導委員会委員の委嘱について 議案第8号 中頓別町学校評議員の委嘱について 議案第9号 中頓別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について 議案第10号 中頓別町社会教育委員及び中頓別町文化・スポーツ表彰選考委員会委員の委嘱について 議案第11号 中頓別町民センター運営審議会委員の任命について 議案第12号 中頓別町文化財保護委員会委員の任命について 議案第13号 中頓別町体育指導委員会委員の委嘱について 議案第14号 事務職員の人事異動について	1) 中頓別町創作活動施設の管理運営業務に関する一連の対応等について 2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正内容について 3) 平成21年度教職員人事異動について 4) 中頓別町育英会運営規約の一部を改正する規約について 5) いじめ等に対する各学校の状況報告について 6) 中頓別中学校評議員会報告について 7) スクールバス運行計画について

開催日	議 案	協議報告事項
3月26日 (臨時)	議案第1号 補正予算について 議案第2号 中頓別町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 中頓別町創作活動施設の管理・運営に関する一連の対応に係る謝罪文「広報なかとんべつ」の掲載について 議案第4号 懲戒処分について	
3月31日 (臨時)	議案第1号 中頓別町学校給食センター管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	

2. 教育委員会の活動状況

(1) 学校訪問について

実施月日 平成20年 9月 3日 小頓別小中学校

実施月日 平成20年 9月 4日 中頓別小学校、中頓別中学校

委員3名・事務局1名

(2) 教育委員研修について

① 第45回北海道市町村教育委員研修会（札幌市）

実施月日 平成20年7月11日

委員3名・事務局1名出席

② 管内教育委員研修会

実施月日 平成20年9月10日・11日（豊富町）

委員3名・事務局1名

(3) 教育委員会に関わるその他の活動（教育委員が出席した活動等）

月	各種行事・大会等
4月	自治記念式、こども園入園式、小中学校入学式、山村留学歓迎会、浜頓別高校入学式、着任教職員辞令交付式、寿大学入学式、クリーン作戦
5月	スポーツ少年団結団式、中頓別中学校運動会、消防団春季消防演習、中頓別町戦没者慰霊祭
6月	小頓別小中学校運動会、中頓別小学校運動会
7月	こども園運動会、町民ソフトボール大会
8月	町民駅伝大会
10月	小頓別小中学校文化祭・山村留学交流会、中頓別中学校文化祭、中頓別小学校学芸会、寿大学芸能発表
11月	子ども芸術祭、町民文化祭、文化スポーツ賞授賞式
1月	新年交礼会、平成21年成人式
3月	町民スキー大会、浜頓別高校卒業式、小中学校卒業式、小頓別小中学校閉校記念式典及び惜別の会、スポーツ少年団解団式、寿大学卒業式、こども園卒園式

3. 主要な施策に基づく点検・評価

(1) 点検・評価の項目

点検・評価は平成20年度教育行政執行方針に基づく具体的な推進施策としています。

1 生涯学習の推進

ア. 「中頓別町まちづくり・生涯学習推進計画」に基づく生涯学習の推進 イ. 学習情報の提供

2 学校教育の推進

ア. 学力の向上 イ. 豊かな心の育成 ウ. 健やかな体を育む エ. 信頼される学校づくり オ. 幼児教育 カ. 特別支援教育
キ. へき地・複式教育

3 社会教育の推進

ア. 学習機会の充実 イ. 文化・芸術の充実 ウ. スポーツの充実

4 教職員の住宅環境の整備

ア. 教職員住宅の水洗化

(2) 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、施策・事業の内容と実績、成果と課題等を示しています。

内部による点検・評価と、学識経験を有する者の外部評価を行っています。

(3) 点検・評価結果の構成

1 評価対象

「平成20年度中頓別町教育行政執行方針」の主要な施策4項目ごとに点検・評価を行っています。

2 事業内容・実績等

各項目の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容、実績等を示しています。

3 成果・課題等

事業の実施に伴い、教育上効果があった内容、成果および課題等を示しています。

4 内部評価 平成21年7月30日

目標に対し、取り組みの進捗状況などをふまえ、A～Dの4段階で評価を行っています。

(評価判断基準) A・・・目標通り又は目標以上の成果が得られた。

B・・・概ね目標が達成できた。

C・・・課題を残し、目標も十分達成できなかった。

D・・・具体的に成果がなかった。

5 外部評価 平成21年8月6日

目標に対し、取り組みの進捗状況などを踏まえ、学識経験を有する者が、総合的な意見として評価を行っています。

外部評価委員会 委員長 米津英男、副委員長 朝日忠則、委員 佐藤一彌、田邑正憲、高橋恵美子 5名

□ 評価結果

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
<p>1 生涯学習の推進</p> <p>人々が生涯にわたって学び続けることができるよう、一流の中頓別づくりの推進とあわせた生涯学習活動の推進を図る</p>	<p>1 「中頓別町まちづくり・生涯学習推進計画」に基づく生涯学習活動の推進</p>		B	
	<p>(1)推進チーム会議の開催 学校支援地域推進本部事業(学校支援ボランティア・そうや自然学校生活職人)が実施され、関連することから、単独での推進チーム会議を開催しないまま事業を進めました。</p>	<p>推進チーム会議が開催されなかったことを十分反省し、今後は、推進チームの再編成と具体的な取り組みを明確にして、しっかりと取り組んでいきます。</p>	C	<p>・関心がないためか、実際にどのようなことが行われているのか伝わってこない。</p> <p>・学校支援地域本部の今後の活動に期待する。</p>
	<p>(2)まなびネットの設置 そうや自然学校、学校支援地域推進本部事業と連携し、中頓別町まなびネット「生活職人(地域ボランティア)」が設置され、登録されました。 ・食の職人…………… 5件 ・自然体験の職人……………15件 ・文化スポーツの職人………32件</p>	<p>食の職人、自然体験の職人、文化・スポーツの職人で52件の登録がされ、地域にあるものを活かしたまちづくりの推進基盤が確立されましたので、今後はこの利用が期待されます。</p>	A	<p>・まちづくり推進課と教育委員会の社会教育部門が一本化して、生涯学習を推進しているので、その成果を期待する。</p> <p>・まなびネット「生活職人(地域ボランティア)」が設置されたが、利用しやすいように町民に周知すべきと思う。</p>
	<p>(3)フォーラムの開催 学校支援地域本部は、学校を支援するため地域の方々をボランティア(生活職人)として紹介・派遣する仕組みで、地域につくられた「学校の応援団」として、学校・家庭・地域が一体となり、地域で子どもたちを育てるよう組織された団体です。この事業を今年から3年間取り組みますので、生涯学習との関係から、生涯学習フォーラムと位置づけ、その成果を発表しました。 ・学校支援地域本部事業成果報告会 ・平成21年3月6日 午後6時30分 ・報告事項、事例発表、講話及び意見交換</p>	<p>フォーラムには、関係者も含めて37名が出席し、地域教育協議会・地域コーディネーター・ボランティア「生活職人」の役割が確認され、今後の支援活動の基礎を構築しました。3年間はこのフォーラムを生涯学習フォーラムと位置づけ、成果の発表を行います。</p>	B	
	<p>2 学習情報の提供</p> <p>(1)生涯学習だより・ホットな情報通信による情報の提供 広報なかとんべつに「ほっとな情報通信」を5月から3月まで8回掲載し、情報の提供に努めました。</p>	<p>広報紙には、計画どおり情報提供することができました。生涯学習活動の紹介が主な内容となっていますが、今後も内容の充実に努めていきます。</p>	B	<p>・ボーセンさんの徒然日記から学ぶことが多くある。</p> <p>・情報提供も行事報告に終わることなく、学習できる内容などの工夫が必要である。</p>

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
2 学校教育の推進 子どもたちの個性や創造性を重視し、ゆとりの中で子どもたちの発達段階に応じた指導を行うことにより、子どもたちに「確かな力」、「豊かな心」、「健やかな体」の心豊かでたくましく「生きる力」を育むとともに、地域に開かれた「信頼される学校づくり」に取り組む。	1 学力の向上 (1)主体的に生きていくために必要な基礎・基本を身に付けさせる学習習慣の定着 各学校とも読書を中心に、10分から15分間の朝学習の時間を設けるなどして、基礎・基本を身に付けさせる学習習慣の定着に取り組みました。また、長期休業中の学習計画等を作成し、実施しています。	各学校とも朝の読み書きなどの学習や長期休業中の学習計画書の取り組みがされたおり、基礎・基本を確実に身につけるための学習習慣が定着しています。基礎的、基本的な知識、技能は概ね身につけています。	B	・学校評議員の意見、提言を今後も充分取り入れてもらいたい。 ・総合的な学習の時間の取り組みで、地域の協力をいただき、活用されているところは素晴らしいので、今後も続けていってもらいたい。
	(2)地域の有為な人材を活かした総合的な学習の時間の推進 中頓別小学校では「中頓別探検隊」の取り組みとして、地域の指導者に協力をいただき、「魚釣り体験」「砂金掘り体験」「ツリーハウス作り体験」を実施しました。中頓別中学校では、町の「食楽セミナー」に参加しながら「食育」をはじめ、「キャリア教育」「平和学習」など計画的に実施しました。小頓別小中学校では、子どもたちの興味・関心と地域の特色を活かしながらの活動が進められました。	地域の方々からは、熱心にご教授をいただき、子どもたちは中頓別の自然や産業・歴史を探求的に学ぶ意欲へと繋がりました。特に小頓別小中学校では閉校の年でもあり、「地域」を一つのテーマに設定し、環境や歴史などの追及がなされ、そのまとめ・発表では地域の方々からも大きな賞賛の言葉をいただきました。	A	
	(3)指導方法工夫改善のための教職員定数過配の確保 個々の学力の実態を適確に把握し、生徒1人ひとりの個に応じた教育を展開するため、中頓別中学校にT・Tの加配を確保しました。	学習の進捗や理解の程度、学習課題等に応じて、複数の教員が英語、数学等それぞれの専門性を生かし協力して授業を展開することができました。	A	
	(4)学習指導方法の研究に努めている中頓別町教育研究会への支援 各学校に、学習指導方法の研究を研究紀要としてまとめるための経費を支援しました。	各学校とも1年間の研究成果を紀要として次のとおりまとめました。 ○中頓別小学校 生きいきと学び表現する子どもの育成 ○中頓別中学校 学ぶ意欲を育み、主体的に行動できる生徒の育成を目指して ○小頓別小中学校 自己学習力を高める子どもの育成	B	
	(5)学級環境整備や教材の工夫などによる「分かる授業」の推進 各学校では、校内研修等を通じて、新しい指導方法を積極的に取り入れ、「分かる授業」の取り組みを実施しました。	小学校においては、一人一人の学習状況を把握しながら、分かりやすい教材の工夫やコンピュータ、図書室などの活用により、基礎・基本の学力向上に繋がってきています。中学校においては、授業技術の向上や「生徒の興味・関心を引き出す教材・資料の提示や学習形態」などにより、生徒の理解や学ぶ意欲が高まっています。	B	
	(6)小学校と中学校との教師の交流研修 年間2回の小中交流を実施しました。それぞれ授業を公開し、その後、懇談の中で、学習や生活に関わる児童生徒の実態の交流を行いました。	小学校、中学校の教師がそれぞれの授業や生徒指導等を学びあい、相互理解に立った教育の推進に役立っています。来年度は、小学校、中学校各1校となるため、小中連携が益々必要となります。	B	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	(7)英語指導助手による英語教育 中頓別小学校では、総合的な学習の時間の中で、毎週火曜日、金曜日にウエルカム教室として取り組みました。中頓別中学校では、全学年で選択英語(コミュニケーション英語)として毎週水曜日に取り組みました。小頓別小中学校では、総合的な学習の時間の中と選択英語(コミュニケーション英語)で毎週木曜日に取り組みました。	小学校では、楽しみながら英語に親しみ、中学校では、コミュニケーション英語として活用しました。小学校においては、平成21年度から新学習指導要領に即して、5・6年生では35時間外国語活動を実施しなければなりませんし、1～4年生も同様な取組が必要となります。	B	
	2 豊かな心の育成		B	
	(1)他人を思いやる心や善悪の判断などの規範意識を養う道徳教育の充実 道徳の年間計画を作成し、道徳教育の研修を積みながら、全職員が指導にあたりました。	数々の体験や活動を通じて、人との関り方を学びながら日々成長している児童の姿が見受けられます。規範意識やいじめの問題、友人間のコミュニケーションなど道徳の授業を核に生徒に対して指導の充実が図られました。	B	・学校、家庭、地域が一体的に取り組まれているので、今後も継続して力を入れていただきたい。
	(2)学校・家庭・地域社会が一体となった奉仕活動・体験活動の継続 学校行事や町クリーン作戦、緑の募金、長寿園・天北厚生園の訪問、保育所の読み聞かせ体験、リングプルやペットボトルキャップ収集など、さまざまな分野で奉仕、体験活動を実施しました。	奉仕活動や体験活動等を通じて、豊かな心や思いやりの心の育成に繋がっています。中頓別中学校においては、独居老人除雪は、業者が行っているため中止となりました。	B	・夏休みや冬休みの分団活動で、地域の人たちを巻き込んだ活動がないように感じる。地域との繋がりが薄れているように感じる。
	(3)各学校の「ふれあい広場」の支援 子どもたちの健やかな成長を願って、各学校で実施するふれあい広場の経費を支援しました。中頓別小学校は、10月5日に、中頓別中学校は8月30日に、小頓別小中学校は1月25日に、それぞれ創意工夫した内容の親子ふれあい広場を開催しました。	中頓別小学校では、お祭りをイメージした出店とゲーム、最後に「よっちゃれ」を踊り締めくくりました。中頓別中学校では、スポーツ交流としてミニバレー、パークゴルフで交流を深め、小頓別小中学校では、かるた、百人一首に、昼食会では餅つきを自治会との共催で行われ、それぞれ有意義な取り組みとなっています。	B	
	(4)スポーツ文化活動の支援 町内生徒のスポーツ向上等と管内との交流親睦を図るため、学校体育連盟にスポーツ文化活動の経費の一部を支援しました。南宗谷球技大会・新人戦・弁論大会、宗谷地区陸上競技大会、球技大会等に参加しました。	管内の中学生とのスポーツ等を通じた交流を深めることができ、また、技術の向上にも繋がりました。生徒数が少ないため、野球やサッカーなどの競技に参加できないのが残念です。	B	
	3 健やかな体を育む		B	
	(1)体育の一層の充実、運動部活動の推進 体力テストで児童の実態を把握するとともに、各学年で重点的な指導を実践しながら、体育指導の充実に努めました。地域、保護者と連携して、生徒の部活動が教職員の献身的な指導のもと実施されました。	児童の実態を把握しながら、全校的に体力向上を目指すことができました。地域や保護者の協力のもと体育活動や運動部活動の充実を図ることができました。	B	・食について一生懸命取り組まれていることが分かる。それによって体力、学力がついてくるので、学校給食の充実を図っていただきたい。

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	(2)栄養教諭による学校における食に関する効果的な指導 栄養教諭が給食時に学級に入りながら児童の実態を把握するとともに、食事のマナーや食材の工夫など日常的に評価しながら推進しました。給食時間や授業を通じて、生徒へ栄養面やマナー、作法等その実態に合わせて指導を行いました。	栄養教諭の指導により、食育に関して児童・生徒の意識の高まりがみられるとともに、家庭へも食育の重要性を啓蒙することができました。	B	
	(3)学校給食の創意工夫 給食内容は、米飯を基本とし、麺給食週1回、隔週でパン給食、こどもの日・クリスマス等の行事食、6月と12月のリザーブ給食、2月と3月にバイキング給食を実施しました。	国内品の需用の増加、輸送費の高騰による価格の上昇、食品偽装や食中毒の発生などに対応するため、国産、道産食材への切り替えや献立に創意工夫し、「安心、安全、安価」な食材に重点を置いた結果、給食費を値上げすることなく運営することができました。	B	
	(4)手づくり愛情弁当持参日の設定 中頓別小学校では、遠足や運動会・学芸会等を愛情弁当持参日として取り組みました。中頓別中学校では特に取り組みがされていません。小頓別小中学校では、中頓別神社祭典などの時は、給食がないため、その様なときを位置づけて取り組みをしました。	手づくり愛情弁当持参日の設定がされていない学校もあり、また、取り組んでいても運動会等の行事に合わせるなどで、課題も明らかとなりました。	C	
	(5)薬物乱用防止教育など学校保健の充実 養護教諭が中心となり、稚内保健所との連携を図りながら、「薬物乱用防止教室」「禁煙教室」や授業の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用防止の教育を取り組みました。	薬物の恐ろしさやたばこの被害の怖さなど認識しながら学習することができました。	B	
	4 信頼される学校づくり		B	
	(1)学校だよりで学校教育活動の情報提供 学校だよりを定期的に発行し、学校や児童・生徒の様子、教育情勢等を地域や保護者に情報を提供しました。	学校や児童・生徒の様子を保護者や町民にしっかり伝えることができ、開かれた学校づくりに貢献しています。今後も継続して発行し、学校や児童・生徒の様子を提供します。	B	・学校評議員の意見を聴き、学校運営に活かしていただきたい。
	(2)学校評価を踏まえた教育実践や学校経営 学期ごと(年3回)に、学校評議員会を開催しました。	評議員から率直な意見をいただき、教育実践や学校経営に生かすことができました。	B	・学校便りが町民に配られているので、子ども達を知るうえでは助かっている。
	(3)学校独自の評価と外部評価 教職員が行う自己評価と保護者アンケートによる内部評価を実施しました。	結果については、教育委員会に報告するとともに、保護者に公開し、教育計画、学校運営に反映させることができました。また、外部評価については、平成21年度から実施する予定です。	B	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	5 幼児教育		B	
	(1)保健センター、こども館と連携し、ブックスタート、絵本の読み聞かせの支援 6ヶ月検診時にブックスタートパック(絵本2冊)を配付し、1歳児検診、1歳半検診、3歳児検診時に読み聞かせを実施しました。	検診時に絵本の読み聞かせや絵本を通しての親子の繋がりを話したり、家族で読んでいただくよう進めることで、親子の絵本に対する関心の高まりが見られます。	B	・継続して取り組んでいただきたい。
	6 特別支援教育		B	
	(1)LD、ADHD、高機能自閉症などの発達障害に配慮した特別支援教育の推進 学校教育法の改正に伴い、障害児教育推進委員会を解散し、新たに特別支援教育連携協議会を6月4日に設立しました。7回の役員会と3回の協議会を開催し、講座、公演会や手をつなぐ子らの運動会などの支援を行いました。	就学前及び小・中学校等に在籍しているLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、高機能自閉症などの障害のある児童・生徒等に対する適切な支援や関係者の情報共有が図られ、効果的な取り組みが進められています。	B	・学校の要望に基づいて、取り組んでいただきたい。
	(2)特別支援教育支援員の配置 各学校の求めに応じ、特別支援教育支援員を配置しました。平成20年度では中頓別小学校の要望により支援員を配置しました。	校内に特別支援推進委員会を設置し、稚内養護学校と連携して取り組んだ「パートナーティーチャー制度」の活用によって、支援の必要な児童の今後の指導方針・方法等について研修を深めることができ、また、支援員の配置により効果的な指導が行われています。	B	
	7 へき地・複式教育		B	
	(1)学校の求めに応じた人材や物資の支援 平成20年度を持って閉校する小頓別小中学校のへき地・複式教育に関する支援を行いました。	大正4年に枝幸郡上頓別附属小学校特別教授場として開校し、93年の歴史を閉ざした小頓別小中学校は、平成4年から山村留学制度を導入し、へき地・複式教育の発展に貢献してきました。	B	・長い間、大変ご苦労様でした。
	(2)山村留学への支援 山村留学生受け入れ等に関する支援として、山村留学推進協議会の活動費の支援を行いました。	山村留学生として、親子留学で6人(新規5人、継続1人)、里親留学で6人(新規3人、継続3人)の12人の受入を行いました。閉校にふさわしい事業を展開してきました。	B	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
3 社会教育の推進 自らの人生を見つめ、趣味を深めて余暇活動を充実させたり、互いに支え合う互恵の精神に基づき、自治会活動や福祉ボランティア活動などに参加するために必要な知識や技術を身につけさせるため、社会教育の推進を図る。	1 学習機会の充実		B	
	(1)女性学級の充実 上駒女性学校8名の会員が学習計画に基づき、健康相談、議会傍聴、いきいき健康教室、料理レシピづくり、芸術鑑賞など一日町外研修やふるさと少年教室の餅つきへの支援、健康づくり講座への参加をしてきました。	4月の開級式に事業計画を決定し、会員の参加によりほぼ事業計画どおり実施でき、豊かな人生を過ごすための一翼となりました。会員も高齢化してきていますので、事業計画は無理せず、地道に活動を継続していきます。	B	・青年や女性に関する取り組みが少ないように感じる。 ・横断歩道で子ども達は、車を通過するのを待っていて、車を止めて渡らせると、渡ってからきちっと礼をする。あいさつ子育て活動を今後も継続してほしい。
	(2)高齢者教室「寿大学」の充実 寿大学では、大学1年生から研究生まで161名の学生が登録し、学習、町外一日研修、修学旅行、学校祭等の事業に延べ412名が参加しました。	事業は、ほぼ計画どおり実施することができましたが、学生も年々高齢となり、年間の延べ参加者は減少しています。さらに事業内容の充実を図り、生きがいとなる活動を続けていきます。	B	
	(3)あいさつ子育て運動の支援 あいさつ子育て推進協議会が実施した「ふれあいあいさつ標語」の印刷、入選者の賞状メダル、PTA連合会と合同で行った講演会の経費を支援しました。	長年の取り組み成果がでてきており、街の中で子どもたちに会うと元気にあいさつします。町ぐるみの運動として定着してきていますので、このまま地道に活動を継続していきます。	B	
	(4)チャレンジクラブの開催 中頓別小学校の5年生を対象に、体験したいことを予めアンケート調査し、希望の多かった活動のカヌー体験、星空観察、化石レプリカづくり、餅つき体験、雪遊びの5事業を行いました。	子どもたちの「生きる力」を育むため、様々な体験活動を提供し、「自ら学び、自ら考える力」を促すことができました。また、地域の指導者の協力をいただき、大変感謝しています。	B	
	(5)ふるさと少年教室の開催 チャレンジクラブと合同で、日本の伝統生活文化である餅つきに挑戦しました。上駒女性学級にも協力していただき、雑煮、あんこ餅、きな粉餅、いそべ巻などをつくりました。また、空いた時間を利用して紙飛行機も作りました。	小学5年生11名が、初めての臼、杵での餅つき体験、杵でつくのは大変そうでしたが、出来上がった餅をととても美味しそうに食べていました。後片付けもしっかり手伝い、空いた時間も紙飛行機の製作にあて、充実した教室を開催することができました。	B	
	(6)自然体験・社会体験など多様な活動の推進 まちづくり推進課が中心となって運営したそうや自然学校プロジェクトでは、関係機関の協力の下、自然体験から指導者養成講座まで年間49事業を行い、延べ1,471人の参加がありました。	そうや自然学校の今後の運営に関する基礎が築かれたので、次年度からは、運営体制の確立と体験活動の受け入れを実施していきます。	B	
	(7)夏休み・冬休み等での「いいとこ探し隊」の活動支援 チャレンジクラブと合同で、夏にはカヌー体験(参加者7名)、冬には雪遊び(参加者9名)を行いました。	カヌーの体験を通して、集団での仲間づくりや自然環境に対する意識の啓発、また、雪の中での遊びの楽しさを学ばせることができました。	B	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	(8)英会話教室の開催 保育所の年長児を対象とした週1回の「ポーセン先生と英語であそぼう」、一般町民を対象にした週3回(火曜日午後・夜間、金曜日午後)の英会話教室を行いました。	保育所については、遊びを通して英語のコミュニケーションを図るため、カードを使って英語を覚える、歌って英語を覚える取り組みを行い、発表会で英語で「好きなもの」を発表するまでできるようになりました。一般町民の英会話教室では、昼は4名、夜間は5名が参加して英会話を学び上達しています。	B	
	2 文化・芸術の充実		B	
	(1)文化協会の自主的活動の推進 加盟15団体が町民文化祭に向けての作品づくりや芸能発表を活動の中心に、納涼ビールパーティー、神社祭典への神輿、夏まつり踊り参加、歳末助け合いチャリティーパーティーなどの自主的活動を続けています。	創作活動施設「ゆめくらぶ」の管理運営を文化協会に委託しましたが、教育委員会事務局の勉強不足で指定管理者でなければならない全面委託を行っていました。このことについて、文化協会と町民に多大なご迷惑をおかけしたことを深く反省し、今後も町民の皆様と文化協会のお力添えをいただき、文化活動を推進してまいりますのでよろしくお願いたします。	B	<p>・全て一生懸命していただいて、町民も感謝している。</p> <p>・文化祭の菊の展示がなく、寂しい感じがする。</p>
	(2)子ども芸術祭の開催 町民文化祭(10月31日～11月3日)に、認定こども園の絵画、小学生・中学生の絵画、立体作品、彫塑、書道等の作品展示会(11月2日まで)と小中学生による芸能発表を11月1日に7部門行いました。	作品展示、芸能発表を通じて、子どもたちは互いに刺激を受け、より良い文化活動の意欲が培われています。認定こども園、小中学校の文化活動の取り組みが町民に公開され、教育活動に対する理解が得られています。	B	
	(3)町民文化祭の開催 10月31日から11月2日まで、俳句展、書道展、寿大学作品展、写真展、絵手紙展、長寿園作品展、手芸展、陶芸展、スピン会作品展、絵画展、おし花サークル展、川柳コンテストなどの作品展示会、10月31日寿大学芸能発表、太田社中、茶道サークル、11月1日子ども芸術祭、茶席、11月2日文化スポーツ賞授賞式、ポーセンジェレドミニコンサート、一般芸能発表会、11月2日各団体の展示即売会、農協女性部バザー、11月3日なかとんべつ町民文化祭寄席など行いました。	文化活動団体・サークルでは、1年間の活動の成果を発表するため、町民文化祭に向けた取り組みを重視し、毎年、創意工夫しながら志向を凝らした作品に挑戦する方や趣味を活かし名演技する芸能発表など多種多様な文化活動を披露していただいています。それぞれが文化祭を通じて技術を研鑽し、また、来年も頑張ろうと言う場となり、充実した文化の日の取組行事となっています。	A	
	(4)鍾乳洞及びその周辺の文化財としての保護活用 鍾乳洞周辺の環境整備が本年度で完了し、新たに森林浴を楽しめる散策路が4コース増え、既存のすこやかロードを合わせると10コースもの散策路ができあがりました。第1洞窟は、新しい時代の地層に形成されているため、一般公開まえに安全確認を行い公開しています。また、団体の見学者から詳細の説明を求められた場合には、教育委員会が対応し、観光担当と連携して保護保全に努めています。	洞窟については、見学者に対する安全管理面での問題もなく、公開することができました。散策路の四季折々の草花、樹木への名札も増やし徐々に充実してきています。指定管理を受けている振興公社での維持管理も徹底しています。第1洞窟内でライトがあたっている部分にコケ類が発生しているので、今後改善が必要となってきます。	B	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	3 スポーツ活動の充実		B	
	(1) スポーツ施設の維持管理 町民体育館と学校体育館の屋内施設は、体育連盟加盟団体、軽スポーツサークルなど年間延べ6,385人が利用、柔剣道場は、スポーツ少年団が述べ1,881人の利用、山村水泳プールは、小中学生が中心に1,579人の利用があり、年々利用者は減少していますが、適正な維持管理に努めています。なお、平成19年度から体育館、山村水泳プールは利用料金を徴収し、経費の一部に充てています。	体育館は利用団体が清掃等を行い、維持管理経費の節減に協力していただいています。利用者団体サークルでの使用する日の輪番制も定着し、健康増進のためスポーツに親しんでいます。山村水泳プールは建設後22年が経過しており、一部老朽化しているところもありますが、安全管理を徹底し維持しています。	B	・スポーツふれあい広場の活用を積極的に取り組んでほしい。芝生をきつちと管理しているので、町民が気軽に使えるように工夫してもらいたい。 ・スポーツふれあい広場の管理は大変になるが、一般開放できないか。申込みしなくても自由に使える施設にできないか。
	(2) スポーツ少年団への支援 剣道(6人)、野球(7人)、卓球(7人)、柔道(17人)の4スポーツ少年団の結団式及び体力テストを5月10日に、秋の体力テストを10月18日に、解団式を3月20日に行いました。	指導者の協力のもと、子どもたちはスポーツを通して、健康なからだを心を養い、ルールを守り、他人に迷惑をかけない人間となるよう努めています。小学生で30%の加入率となっています。	B	
	(3) 少年少女スキー教室の開催 小学1年生13名、2年生14名、3年生13名、4年生9名、5年生2名、6年生6名の57名が参加し、1月7日から9日までの3日間、スキー協会、教諭、ボランティアの協力により行いました。	初めて滑る子どもからスキーを閉じてターンができる子どもまで、6班に分けて指導した結果、初心者は最終日にはリフトを乗り、八の字でゆっくり滑って降りれるまでになり、また、それぞれの班では基本的なスキー操作を習得し、今後の練習の弾みとなっています。	B	
	(4) 歩くスキー教室の開催 藤井クロスカントリーコースで、1月28日、2月4日、12日、18日、25日の5回開き、連日15名の町民が参加しました。	参加者は少ないですが、冬季の運動不足と健康づくりに役立っています。	B	
	(5) 町民パークゴルフ大会の開催 5月15日(日)に55名が参加し、寿パークゴルフ場で第7回町長杯争奪町民パークゴルフ大会を開催しました。	雨天、低温という悪いコンディションでしたが、パークゴルフ協会の協力のもと、大会全般をスムーズに運営することができ、技術の向上と参加者の親睦を深めることができました。	B	
	(6) ソフトボール大会の開催 7月13日(日)に5チームが参加し、ふれあいスポーツ広場で開催しました。	前日からの雨と大会当日も小雨でしたが、ルールを一部変更(盗塁とパスボールでの進塁禁止)し、審判も参加者に協力していただき運営することができ、参加者の親睦交流を深めることができました。	B	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	<p>(7)町民駅伝大会の開催 8月31日(日)に敏音知コミュニティーセンターをスタートし、中頓別町役場までの15.4kmの4区間を小学生の組、中学生男子・女子の組、一般男子・女子の組5クラスで競技を行いました。小学生の組が8チーム、中学生男子が2チーム、女子が1チーム、一般男子が3チーム、一般女子が2チームの16チーム64名が参加し完走いたしました。</p>	<p>小学生から一般まで、8チーム64名が、日頃の練習の成果を競いあいました。大会運営スタッフも体育指導委員をはじめ、地域生活安全協会や交通安全指導委員会、ボランティアスタッフの協力のより、例年通り40名前後を確保することができました。</p>	B	
	<p>(8)教育長杯室内ゲートボール大会の開催 3月21日(金)4チーム24名が参加し、町民体育館で開催しました。</p>	<p>ゲートボール協会員が中心に参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。一般の参加者が少ないのが残念です。</p>	B	
	<p>(9)町民ソフトミニバレーボール大会の開催 2月20日10チーム、50名が参加し、町民体育館で開催しました。</p>	<p>職場やサークル、愛好会等が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。青年から壮年まで、気軽に参加でき、健康づくりに役立っています。</p>	B	
	<p>(10)スキー大会の開催 3月1日(日)寿スキー場で、大回転と(小学生の部、中学生の部、一般の部)と歩くスキー競技が行われ、60名の選手が参加しました。</p>	<p>参加者は、小学生が33名、中学生が1名、一般が12名、歩くスキーが14名でした。スキー人口は年々減っておりますので、大会運営にも苦慮しています。</p>	B	
	<p>(11)社会教育施設・スポーツ施設の指定管理 寿スキー場、ふれあいスポーツ広場、テニスコート、パークゴルフ場、ゴルフ練習場、青少年宿泊研修センター及び寿公園を(有)中頓別振興公社に指定管理者として、管理運営を委託しました。</p>	<p>長年、(有)中頓別振興公社に管理運営を委託していますので、しっかり維持管理されています。指定管理料の面からも、平成19年度と比較して減額できましたので、公社としての努力が見られます。</p>	B	
	<p>(12)社会教育施設・スポーツ施設の利用形態、利用料金の見直し 中頓別町創作活動施設について、指定管理制度導入時の条例改正に不備があったため、見直しを行いました。</p>	<p>今年度は、特に議会いきいきふるさと常任委員会から指摘のあった中頓別町創作活動施設についてのみ、見直しを行いました。他の施設についても利用状況を勘案し、常に見直しを行わなければなりません。</p>	B	

4. 教育委員会の事務の執行状況

生涯学習、学校教育、社会教育における執行状況（別紙資料）

項 目	主 要 な 施 策	成	果
-----	-----------	---	---

総務学校教育	小中学校 児童・生徒・教員数	区分		教 員 数										職 員 数		学 年 別 児 童 ・ 生 徒 数 内 訳									
		学校名	へき 地級	学 級 数	男 女 別	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	計	事 務 局 員	用 務 員	計	学 級 区 分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
																								1	6
		中頓別小学校			女	1		6	1		1		9		0										
		小頓別小学校	3	3	男 女 別	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	計	事 務 局 員	用 務 員	計	学 級 区 分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
																								3	3
		小頓別小学校			女			1	1				2		0	複式学級			2	1	1	4	8		
		小学校計		9		1	2	10	2	1		17	1	2	3		16	20	18	17	14	21	106		
		中頓別中学校	1	4	男 女 別	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	計	事 務 局 員	用 務 員	計	学 級 区 分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
																								1	4
中頓別中学校			女			5	1			6		0	特別支援				1					1			
小頓別中学校	3	3	男 女 別	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	計	事 務 局 員	用 務 員	計	学 級 区 分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計				
																						3	3	男	1
小頓別中学校			女							0		0	複式学級	1	4							5			
														特別支援	1							1			
中学校計		7		2	1	16	1	0		20	2	1	3		18	15	13					46			
合計				3	3	26	3	1		37	3	3	6									152			

※ 教員数、職員数の兼務者は記載しない。 (平成20年5月1日現在)

児童生徒用図書購入

小中学校児童生徒図書購入額状況

学 校 名	購 入 額	学 校 名	購 入 額
中 頓 別 小 学 校	223,080 円	中 頓 別 中 学 校	133,975 円
小 頓 別 小 学 校	48,930 円	小 頓 別 中 学 校	42,601 円
計	272,010 円	計	176,576 円

校舎・教職員住宅等修繕

校舎・教職員住宅補修及び修繕の実施

		修繕費
校舎及び屋体	小学校	594,338 円
	中学校	308,947 円
	計	903,285 円
住宅	教職員住宅	3,347,157 円
合計		4,250,442 円

項 目	主 要 な 施 策	成	果																					
総務学校教育	小学校委託関係	各種健康診断委託料	555,354 円																					
		各小学校校舎管理委託料	5,833,000 円																					
		浄化槽管理委託料	69,940 円																					
		各小学校研究指定校委託料	100,000 円																					
		各小学校消防設備等点検業務委託料	114,450 円																					
		各小学校電気保安管理委託料	163,206 円																					
		各小学校暖房設備点検業務委託料	336,000 円																					
		危険物選任業務委託料	102,000 円																					
		高架水槽清掃業務委託料	51,450 円																					
		地下タンク及び配管微加圧検査業務委託料	36,750 円																					
		特別支援教育推進委託料	140,000 円																					
	合 計	7,502,150 円																						
	中学校委託関係	各種健康診断委託料	210,840 円																					
		各中学校校舎管理委託料	3,528,000 円																					
		各中学校研究指定校委託料	50,000 円																					
		各中学校電気保安管理業務委託料	99,286 円																					
		各中学校消防設備等点検業務委託料	39,900 円																					
		合 計	3,928,026 円																					
	学校健康会の加入及び給付	学校安全会の普及充実を図るとともに児童、生徒の負傷疾病等に関して必要な給付を行った。加入額、給付件数、給付額は次のとおり。																						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">加入額</th> <th style="width: 20%;">給付件数</th> <th style="width: 20%;">給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小学校</td> <td style="text-align: right;">99,480</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: right;">13,648</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中学校</td> <td style="text-align: right;">43,010</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: right;">68,417</td> </tr> </tbody> </table>				加入額	給付件数	給付額		円	件	円	小学校	99,480	5	13,648		円	件	円	中学校	43,010	12	68,417
			加入額	給付件数	給付額																			
	円	件	円																					
小学校	99,480	5	13,648																					
	円	件	円																					
中学校	43,010	12	68,417																					

項 目	主 要 な 施 策	成 果																																																																																						
総務学校教育	児童・生徒の健康診断実施状況	<p>学校保健法に基づき、健康診断と検査を実施した。 へき地心臓検診費国庫補助金 円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">検査別</th> <th>内科健診</th> <th>心臓検診</th> <th>尿検査</th> <th>蟻虫卵検査</th> <th>歯科健診</th> <th>脊柱側彎検診 (町村負担金)</th> <th>眼科検診 (町村負担金)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>実施数</td> <td>72 人</td> <td>33 人</td> <td>106 人</td> <td>106 人</td> <td>103 人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>203,760 円</td> <td>138,600 円</td> <td>22,260 円</td> <td>8,904 円</td> <td>97,850 円</td> <td>33,200 円</td> <td>98,850 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>実施数</td> <td>27 人</td> <td>18 人</td> <td>45 人</td> <td>45 人</td> <td>48 人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>76,410 円</td> <td>75,600 円</td> <td>9,450 円</td> <td>3,780 円</td> <td>45,600 円</td> <td>31,600 円</td> <td>43,650 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">就学児</td> <td>実施数</td> <td>17 人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>17 人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>67,830 円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>16,150 円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td></td> <td>116 人</td> <td>51 人</td> <td>151 人</td> <td>151 人</td> <td>168 人</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>348,000 円</td> <td>214,200 円</td> <td>31,710 円</td> <td>12,684 円</td> <td>159,600 円</td> <td>64,800 円</td> <td>142,500 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>健康診断延人数 637 人 健康診断実施合計額 973,494 円</p>	検査別		内科健診	心臓検診	尿検査	蟻虫卵検査	歯科健診	脊柱側彎検診 (町村負担金)	眼科検診 (町村負担金)	区分									小学校	実施数	72 人	33 人	106 人	106 人	103 人	人	人	金額	203,760 円	138,600 円	22,260 円	8,904 円	97,850 円	33,200 円	98,850 円	中学校	実施数	27 人	18 人	45 人	45 人	48 人	人	人	金額	76,410 円	75,600 円	9,450 円	3,780 円	45,600 円	31,600 円	43,650 円	就学児	実施数	17 人	人	人	人	17 人	人	人	金額	67,830 円	円	円	円	16,150 円	円	円	計		116 人	51 人	151 人	151 人	168 人	0 人	0 人		348,000 円	214,200 円	31,710 円	12,684 円	159,600 円	64,800 円	142,500 円
	検査別		内科健診	心臓検診	尿検査	蟻虫卵検査	歯科健診	脊柱側彎検診 (町村負担金)	眼科検診 (町村負担金)																																																																															
区分																																																																																								
小学校	実施数	72 人	33 人	106 人	106 人	103 人	人	人																																																																																
	金額	203,760 円	138,600 円	22,260 円	8,904 円	97,850 円	33,200 円	98,850 円																																																																																
中学校	実施数	27 人	18 人	45 人	45 人	48 人	人	人																																																																																
	金額	76,410 円	75,600 円	9,450 円	3,780 円	45,600 円	31,600 円	43,650 円																																																																																
就学児	実施数	17 人	人	人	人	17 人	人	人																																																																																
	金額	67,830 円	円	円	円	16,150 円	円	円																																																																																
計		116 人	51 人	151 人	151 人	168 人	0 人	0 人																																																																																
		348,000 円	214,200 円	31,710 円	12,684 円	159,600 円	64,800 円	142,500 円																																																																																
	要保護及び準要保護児童・生徒に対する援助	<p>要保護及び準要保護児童・生徒が援助対象となり、これら家庭の経済的理由により就学困難な児童・生徒に就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を行なった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">特別支援学級</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>6 人</td> <td>84,985 円</td> <td>3 人</td> <td>67,840 円</td> <td>2 人</td> <td>24,965 円</td> <td>11 人</td> <td>177,790 円</td> </tr> <tr> <td>新入学児童・生徒学用品費</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>40,075</td> <td>1</td> <td>11,450</td> <td>3</td> <td>51,525</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>1</td> <td>19,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>19,000</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費</td> <td>1</td> <td>25,300</td> <td>2</td> <td>63,526</td> <td>1</td> <td>18,150</td> <td>4</td> <td>106,976</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>6</td> <td>277,151</td> <td>3</td> <td>154,551</td> <td>2</td> <td>56,200</td> <td>11</td> <td>487,902</td> </tr> <tr> <td>高度へき地修学旅行費</td> <td>4</td> <td>76,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>76,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>18</td> <td>482,436</td> <td>10</td> <td>325,992</td> <td>6</td> <td>110,765</td> <td>34</td> <td>919,193</td> </tr> </tbody> </table>	区分	小学校		中学校		特別支援学級		合計		給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額	学用品費	6 人	84,985 円	3 人	67,840 円	2 人	24,965 円	11 人	177,790 円	新入学児童・生徒学用品費			2	40,075	1	11,450	3	51,525	修学旅行費	1	19,000					1	19,000	体育実技用具費	1	25,300	2	63,526	1	18,150	4	106,976	給食費	6	277,151	3	154,551	2	56,200	11	487,902	高度へき地修学旅行費	4	76,000					4	76,000	合 計	18	482,436	10	325,992	6	110,765	34	919,193						
区分	小学校			中学校		特別支援学級		合計																																																																																
	給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額																																																																																
学用品費	6 人	84,985 円	3 人	67,840 円	2 人	24,965 円	11 人	177,790 円																																																																																
新入学児童・生徒学用品費			2	40,075	1	11,450	3	51,525																																																																																
修学旅行費	1	19,000					1	19,000																																																																																
体育実技用具費	1	25,300	2	63,526	1	18,150	4	106,976																																																																																
給食費	6	277,151	3	154,551	2	56,200	11	487,902																																																																																
高度へき地修学旅行費	4	76,000					4	76,000																																																																																
合 計	18	482,436	10	325,992	6	110,765	34	919,193																																																																																

項 目	主 要 な 施 策	成 果																																																
総務学校教育	学校教育振興費	学校規模に応じた適切な配分により、負担の軽減を図った。																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>振興費内訳 区分</th> <th>教材用消耗品費</th> <th>行事用消耗品費</th> <th>情報用消耗品費</th> <th>総合学習用 消耗品費</th> <th>特別支援用 消耗品費</th> <th>合 計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>円</th> <th>円</th> <th>円</th> <th>円</th> <th>円</th> <th>円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>566,967</td> <td>247,431</td> <td>93,965</td> <td>163,292</td> <td>37,135</td> <td>1,108,790</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>678,340</td> <td>340,689</td> <td>136,182</td> <td>61,323</td> <td>54,705</td> <td>1,271,239</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,245,307</td> <td>588,120</td> <td>230,147</td> <td>224,615</td> <td>91,840</td> <td>2,380,029</td> </tr> </tbody> </table>	振興費内訳 区分	教材用消耗品費	行事用消耗品費	情報用消耗品費	総合学習用 消耗品費	特別支援用 消耗品費	合 計		円	円	円	円	円	円	小 学 校	566,967	247,431	93,965	163,292	37,135	1,108,790	中 学 校	678,340	340,689	136,182	61,323	54,705	1,271,239	合 計	1,245,307	588,120	230,147	224,615	91,840	2,380,029													
		振興費内訳 区分	教材用消耗品費	行事用消耗品費	情報用消耗品費	総合学習用 消耗品費	特別支援用 消耗品費	合 計																																										
			円	円	円	円	円	円																																										
	小 学 校	566,967	247,431	93,965	163,292	37,135	1,108,790																																											
	中 学 校	678,340	340,689	136,182	61,323	54,705	1,271,239																																											
	合 計	1,245,307	588,120	230,147	224,615	91,840	2,380,029																																											
	スクールバス関係	スクールバス運行状況																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>運行経路</th> <th>導入年度</th> <th>定員</th> <th>購入価格</th> <th>利用者数</th> <th>運行開始年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マイクロバス</td> <td>中頓別町～兵安 ～上頓別</td> <td>H3</td> <td>26</td> <td>3,041,405 円</td> <td>7</td> <td>H3</td> </tr> <tr> <td>マイクロバス</td> <td>中頓別町～松音知 ～敏音知～豊平</td> <td>H10</td> <td>29</td> <td>6,615,000 円</td> <td>7</td> <td>H10</td> </tr> <tr> <td>ワゴン車</td> <td>中頓別町～寿 ～弥生</td> <td>H9</td> <td>10</td> <td>4,160,000 円</td> <td>3</td> <td>H9</td> </tr> </tbody> </table>		運行経路	導入年度	定員	購入価格	利用者数	運行開始年度	マイクロバス	中頓別町～兵安 ～上頓別	H3	26	3,041,405 円	7	H3	マイクロバス	中頓別町～松音知 ～敏音知～豊平	H10	29	6,615,000 円	7	H10	ワゴン車	中頓別町～寿 ～弥生	H9	10	4,160,000 円	3	H9																				
			運行経路	導入年度	定員	購入価格	利用者数	運行開始年度																																										
マイクロバス	中頓別町～兵安 ～上頓別	H3	26	3,041,405 円	7	H3																																												
マイクロバス	中頓別町～松音知 ～敏音知～豊平	H10	29	6,615,000 円	7	H10																																												
ワゴン車	中頓別町～寿 ～弥生	H9	10	4,160,000 円	3	H9																																												
教職員健康診断実施	教職員の健康管理のため、次の健康診断を実施し疾病の早期発見に努めた。																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>診察</th> <th>胸部X線</th> <th>血圧測定</th> <th>尿検査</th> <th>聴力検査</th> <th>心電図検査</th> <th>血液検査</th> <th>胃部X線</th> <th>人間ドック</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>人</th> <th>人</th> <th>人</th> <th>人</th> <th>人</th> <th>人</th> <th>人</th> <th>人</th> <th>人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>33</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>211</td> </tr> <tr> <th>円</th> </tr> <tr> <td>57,420</td> <td>21,450</td> <td>6,930</td> <td>7,590</td> <td>6,300</td> <td>22,950</td> <td>138,600</td> <td>51,000</td> <td>50,690</td> <td>362,930</td> </tr> </tbody> </table>	診察	胸部X線	血圧測定	尿検査	聴力検査	心電図検査	血液検査	胃部X線	人間ドック	合計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	33	33	33	33	14	17	33	12	3	211	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	57,420	21,450	6,930	7,590	6,300	22,950	138,600	51,000	50,690	362,930
	診察	胸部X線	血圧測定	尿検査	聴力検査	心電図検査	血液検査	胃部X線	人間ドック	合計																																								
人	人	人	人	人	人	人	人	人																																										
33	33	33	33	14	17	33	12	3	211																																									
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円																																									
57,420	21,450	6,930	7,590	6,300	22,950	138,600	51,000	50,690	362,930																																									

項目	主要な施策	成 果
幼少年教育	家庭教育支援	○ブックスタート 6ヶ月検診時に配付9名(1人2冊) 1歳児検診、1歳半検診、3歳児検診に読み聞かせ ○子ども会活動(第1上駒、2・4町内、あかね、旭台、宮下、3町内、6町内、8町内)
	学習機会提供	○子どもオセロ大会(子ども館と共催) 11月15日 25名 ○子どもカルタ大会(子ども館と共催) 1月10日 24チーム 72名 ○カルタ教室 1月7日～9日 延べ198名の参加 ○少年の主張宗谷支庁地区大会(稚内中学校) 中学生1名 6月30日 ○ジュニアリーダーコース派遣(稚内少年自然の家・道教委主催) 中学生1名 8月5日～7日 ○管内青少年シニアリーダー研修会(稚内市青少年自然の家・局主催) 中学生1名 1月31日～2月1日
	体験活動の推進	○チャレンジクラブ・中頓別いいとこ探し隊 小学5年生を対象に実施 児童14名 ・カヌー体験 頓別川 8月9日 ・星空観察会 小頓別 8月16日 ・化石レプリカづくり 中川町 11月22日 ・餅つき体験 町民センター 12月13日 ・雪遊び 道の駅ピンネシリ 2月7日 ○そうや自然学校体験活動 ふるさとの森自然体験 藤井 5月17日 21名、7月12日 16名、10月4日 14名 小頓別山村留学カヌー体験 頓別川 6月2日 38名 敏音知夏休み自然体験学習会 敏音知 7月25日～27日 83名 利尻富士町の子どもたちとの交流 敏音知 8月7日～8日 カレーライスづくり 8月12日 敏音知 16名 小頓別山村留学カヌー体験・星空観察 頓別川・小頓別 8月16日 38名 キャンドルづくり 10月27日 敏音知 55名 冬の自然体験学習会 12月20日～21日 敏音知 40名 雪で遊ぼうよ 1月16日 敏音知 18名
	学校支援事業	○総合的な学習の時間 地域指導者の支援協力 ・中頓別小学校(中頓別探検隊) 3年～6年 釣り体験 7月2日～3日 66名 ・中頓別小学校(中頓別探検隊) 3年～6年 砂金掘り体験 7月17日 66名 ・小頓別小中学校 養蜂体験 7月8日 15名 ・中頓別探検隊発表会への支援協力(町民センター) 12月17日～19日

項目	主要な施策	成 果
		<p>○学校支援地域本部事業・・・地域全体で学校支援、教員と子どもの向き合う時間を増加、住民の知識・経験や学習成果の活用機械の拡充、ひいては地域の連帯感の醸成、地域の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会議（地域教育協議会）・・・方針や支援内容等の協議3回（10月22日、1月29日、3月6日） ・地域コーディネーター・・・学校とボランティア間の連絡調整等 1名 ・学校支援ボランティア（生活職人）・・・実際に学校支援活動を行う地域住民 12団体、53個人 学習の支援、登下校安全パトロール、部活動の支援、環境整備を実施 ・スタートアップ講習会 2月7日 町民センター 名 ・学校支援地域本部事業報告会（まちづくり・生涯学習推進フォーラム）3月6日 町民センター 36名
青年・成年・女性教育	学習機会提供	<p>○成人式 1月5日 町民センター 当日参加者 13名</p> <p>○英会話教室 日中：週2回（火・金曜日午後）、夜間：週1回（火曜日）、その他文化やスポーツ交流等</p> <p>○女性学級 上駒女性学級 町外研修、料理学習、町事業への参加</p>
	各種指導者研修への参加・派遣	○管内青少年育成運動推進指導員連絡協議会総会 5月16日 稚内市 1名
高齢者教育	学習機会提供	<p>○高齢者大学「寿大学」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習会 入学式、卒業式、教養講座（町長講話、後期高齢者医療制度） ・町外視察研修 6月30日 中川町（ふるさと伝承館、斉藤茂吉歌碑、温泉） 49名 ・修学旅行 10月20日～21日 層雲峡（秋のスポット巡り）10名 ・学校祭 10月31日 文化祭に合わせて開催（作品展示、芸能発表）
国際交流振興	学習機会の提供	<p>○コミュニティ英語の指導 中頓別中学校、小頓別中学校</p> <p>○総合的な学習の時間等での英語指導 中頓別小学校3年生～6年生、小頓別小学校3～6年生</p> <p>○こども館での英会話コミュニティ指導</p> <p>○カンフー教室（週1回） 英語指導助手の特技を活かした活動</p>
芸術文化振興	芸術鑑賞機会の提供	<p>○巡回小劇場 9月18日 スーパーアコースティックギター 谷本 光 コンサート 210名</p> <p>○町民芸術鑑賞会 12月26日 白田路明 津軽三味線ライブ 50名</p>
	文化芸術への積極的参加	<p>○町民文化祭 10月31日～11月2日 一般作品展示、一般芸能発表</p> <p>○子ども芸術祭 11月1日 文化祭の一環として実施</p> <p>○文化スポーツ表彰の実施 文化功労賞：4団体 スポーツ優秀賞：1個人 スポーツ優良賞：1団体</p>

項目	主要な施策	成 果
	団体の育成と活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○中頓別町文化協会の活動支援（15団体） <ul style="list-style-type: none"> ・吟詠会、あかねカラオケサークル、絵手紙クラブ、知足会（茶道）、太田社中（茶道）、茶道サークル、陶芸サークル、白百合会、寿カラオケサークル、やまなみ吟社、しあわせカラオケ会、一声会、東海林社中、日本習字、彩北絵画クラブ ・各種会議等の開催（総会、理事会、資金造成、文化表彰、町民文化祭） ・単体団体の活動支援
指導体制・研修・養成	各種指導者研修への参加・派遣	<ul style="list-style-type: none"> ○管内社会教育委員連絡協議会総会 5月13日 稚内市 2名 ○管内社会教育委員研修会 9月6日～7日 中頓別町 14名（うち職員6名） ○管内社会教育係長等会議 3月16日 稚内市 1名 ○管内社会教育主事会研修会 5月21日～22日 稚内市 2名、12月4日～5日 枝幸町 2名 ○道北ブロック社会教育主事等研修会 11月6日～7日 小平町 1名 ○全道社会教育主事等研修会 5月29日～30日 札幌市 1名 ○中頓別町社会教育委員会議の開催 年3回
生涯学習の推進	生涯学習啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習通信「ホッとな生涯学習情報通信」広報なかとんべつの紙面に掲載 ○まちづくり・生涯学習推進フォーラム（学校支援地域本部事業報告会）3月6日 町民センター 36名 ○地域生涯学習実践交流会セミナー 2月18日～19日 札幌市 1名
スポーツ振興	学習機会の提供	<p>《大会・競技会関係》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○春の歩くスキー遠足 4月6日 上頓別から敏音知コース（約7km） 13名 ○町長杯パークゴルフ大会 5月11日 寿パークゴルフ場 55名 ○町民ソフトボール大会 7月13日 ふれあいスポーツ広場 5チーム 55名 ○夏休みラジオ体操会 7月25日～8月3日 中頓別会場 郷土資料館前、小頓別会場 小中学校前 ○町民駅伝競技大会 8月31日 敏音知から中頓別 16チーム 64名 ○宗谷地区ジュニアアルペン競技大会 1月12日 寿スキー場 41名 ○町民ソフトミニバレー大会 2月20日 町民体育館 10チーム ○町民スキー大会 3月1日 寿スキー場 60名 ○寿ジュニアカップスキー大会 3月8日 後援事業と運営協力 60名 ○教育長杯室内ゲートボール大会 3月21日 町民体育館 4チーム 24名

項目	主要な施策	成 果
		<p>《スポーツ教室関係》</p> <p>○少年少女スキー教室 1月7日～9日 寿スキー場 小学生57名 指導者18名</p> <p>○一般スキー教室 1月20日,23日,27日,30日,2月3日,6日,10日 寿スキー場 参加者2名、指導者2名</p> <p>○歩くスキー教室 1月28日,2月4日,12日,18日,25日 藤井クロカンコース 参加者15名、指導者2名</p>
	団体育成と活動の充実	<p>○スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道スポーツ少年団(6人)、野球スポーツ少年団(7人)、卓球スポーツ少年団(7人)、柔道スポーツ少年団(17人) ・スポーツ少年団結団式及び体カテスト会 5月10日 24名 ・秋の体カテスト会 10月18日 32名 ・解団式 3月20日 <p>○体育連盟の活動支援(10団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道連盟、サッカー協会、柔道協会、バスケット協会、バレーボール協会、走友会、ゲートボール協会、パークゴルフ協会、スキー協会 ・各種会議等の開催(総会、理事会、管内軟式野球大会、資金造成、スポーツ表彰、体育の日記念事業) ・単位団体の活動支援
	各種指導者研修への参加・派遣	<p>○管内スポーツ団体会議への参加 稚内市 4月24日 1名</p> <p>管内体育指導委員会連絡協議会、管内体育協会連絡協議会、管内スポーツ少年団連絡協議会</p> <p>○中頓別町体育指導委員会議の開催 年4回</p>
社会教育施設等の利用	社会教育施設の利用	<p>○町民センター 無料346件 7,566名、有料36件 1,696名</p> <p>○小頓別多目的集会施設 無料29件 359名</p> <p>○郷土資料館 会館日数299日 無料303名 有料141名</p> <p>○図書室 一般2,111名、中高生294名、小学生2,284名、計4,689名 一般4,178冊、中高生263冊、小学生2,918冊、道移動図書752冊 計8,111冊</p>
	スポーツ施設の利用	<p>○創作活動施設 有料2回 名、無料 ○町民体育館 616回 5,280名</p> <p>○学校体育館 108回 1,105名 ○柔剣道場 200回 1,881名</p> <p>○山村水泳プール 63日 有料183名 無料1,396名 ○ふれあいスポーツ広場 434名</p> <p>○寿スキー場 70日 輸送人員44,689名 ○寿パークゴルフ場 2,025名</p>